



アグリ筑西

2018 3月号



日中の日差しが暖かい日が増えてきましたが、まだ夜は寒い日が続きます。体調管理には十分、気を付けましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター) 発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979



真壁高校先進農業研修会を開催！



普及センターでは、管内の県立真壁高等学校の1, 2年生の生徒を対象として、農業に対する興味を引き出し就農意欲を高めてもらうことを目的に、3回の先進農業研修会を開催しました。本研修では、野菜、果樹、花きの先進農家や研究機関で、作物の品種特性や栽培技術を学びました。

第1回(2017年12月12日)は、生徒10名が参加し、県の生物工学研究所及び園芸研究所の見学を行い、県の担当者から現在育成中のイチゴの新品種について説明を受けました。生徒たちは、普段は見ることのできない、県の試験研究の最前線を見学することができ、貴重な経験となったようでした。

第2回(1月19日)は、10名が参加し、筑西市でポトスやクレマチス等の観葉植物を栽培する青年農業士の小波輝昌氏のほ場を視察しました。小波氏は、自身でもオリジナル品種育成するなど、探究心を持って農業に取り組んでいます。生徒たちは、情熱をもって農業に取り組む小波氏の姿から大きな刺激を受けたようでした。

第3回(1月26日)は、17名が参加し、笠間市でブドウを栽培する元農業経営士の深谷一郎氏のほ場を視察しました。深谷氏は、ブドウ栽培一筋で磨いてきた、高い栽培技術を持ち、高品質のブドウを生産しています。生徒たちはその熟練した剪定技術や豊富な知識を目の当たりにし、大変勉強になった様子でした。

普及センターでは、今後も真壁高校と連携しながら、生徒の就農意欲を喚起していきます。



深谷元経営士の話に聞き入る生徒たち(第3回研修)



農業学園「水稲省力化技術・ICT講座」を開催！



2月13日、筑西合同庁舎において、農業学園「水稲省力化技術・ICT講座」を開催し、就農して間もない学園生9名が参加しました。



杉山氏の講義の様子

まず、普及センターの担当から管内の大規模普通作経営体におけるICT等の導入による経営改善の事例を紹介しました。本講義では、「経営改善を考える上ではまず自身の経営の問題点を把握すること」、「その問題点を解決するためにハード面の改善とソフト面の改善の両方を考えること」を学びました。その後、筑西市で普通作の大規模経営を行っている青年農業士の杉山善昭氏から、自身が取り組んでいる水稲省力化技術「乾田直播」について説明を頂きました。杉山氏は10年前から、育苗スペースの削減と省力化を目的に「乾田直播」に取り組み、試行錯誤の結果、収量の安定化を実現しています。本講義では、乾田直播の成功のためのポイントやそのメリットを学びました。

学園生からも活発な質問が出て、ICTや乾田直播などの省力化技術に対する関心の高さがうかがえました。普及センターでは、今後も学園生の農業経営に役立つ講座を開催していきます。



管内でも施設野菜におけるICT導入が始まっています！



県内有数の施設野菜産地である筑西市、桜川市において、トマトやイチゴ、キュウリ等のハウスへの環境測定装置、ICT（情報通信技術）の導入が始まっています。

環境測定装置によって、これまでは具体的に見えてこなかった温度・湿度・二酸化炭素等のハウス内環境の変化を測定・記録することができ、トマトの生育状態と合わせて栽培の改善点を明確化することができます。さらに、ICT技術により、離れたところからでもパソコンやスマートフォンなどの端末で閲覧、共有することも可能となります。

普及センターでは、安定生産技術を確認するため、環境測定データの解析を支援し、栽培管理指導を行っていきます。



環境測定データを活用した栽培指導の様子



ハウスナシにおけるハダニIPM※防除技術の紹介（※IPM…総合的病害虫防除）

近年、ナシを加害するハダニ類に対する薬剤感受性の低下が問題となっており、現場では化学的防除のみに頼らない天敵資材を用いた防除体系の確立が求められています。ナシのハウスにおいて、ハダニを捕食するミヤコカブリダニの吊り下げ型パック製剤（写真）を導入し試験したところ、カブリダニよりハダニの密度が低く保たれ、ハダニの発生抑制効果が確認されました（図）。また、慣行区と比較して、殺ダニ剤の散布回数を1回削減（4回→3回）することができました。天敵を導入する際は、使用できる農薬や導入時期などいくつかの注意点ががありますので、導入を検討される場合は普及センターまたは農協窓口にご相談下さい。

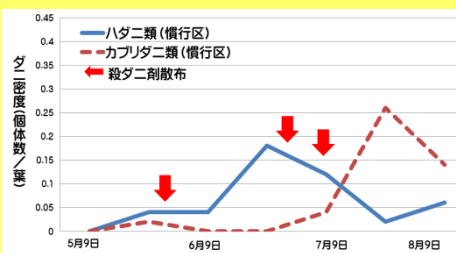
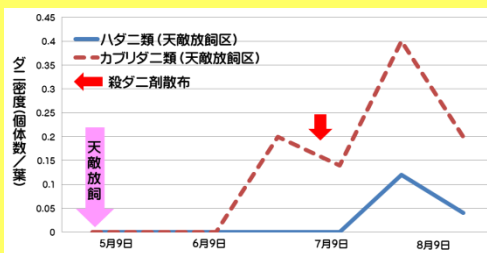


写真 天敵資材設置の様子（水侵入防止のための果実袋を使用）

図 ナシ（ハウス）におけるハダニ類とカブリダニ類の発生消長（左：天敵放飼区、右：慣行区）



トマト黄化葉巻病・黄化病講習会を開催します！



こだまスイカの裏作として重要な抑制トマトにおいて、近年、トマト黄化病・黄化葉巻病が発生し、産地を悩ませています。これらのウイルス病は、根本的な治療法がなく、コナジラミ類によって媒介されるため、産地一体となったコナジラミ類の防除対策が重要です。そこで、こだまスイカ産地活性化協議会では、これらの重要病害の対策を呼びかける、トマト黄化葉巻病・黄化病講習会を下記の日程で開催します。講習会では、普及センターから、今年度実施した現地調査の結果や対策について説明します。

各日程において講習会の内容は同じですので、各自の都合に合わせてご参加ください。お問い合わせは、普及センター（担当 袴塚）までお願いいたします。

日時	開催場所	担当種苗店
3月5日（月） 18:00～	森商事 真壁店（桜川市真壁町亀熊1304-1）	森商事
3月6日（火） 18:00～	十里農村集落センター（筑西市桑山1672-1）	東洋農事
3月7日（水） 18:00～	大島種苗店（筑西市門井1971）	大島種苗店
3月8日（木） 18:30～	協同ビニール（株）（筑西市古郡551-1）	ハナフ種苗

* 講習時間は1時間弱を予定しています。

普及員のひとりごと ～ 阿久津理～

インフルエンザが大流行していますが、皆様はいかがでしょう？我が家の子供たちは奇跡的に無事ですが、保育園ではウイルスがまん延しているようです。人間も植物もウイルス病は「予防」が大切です！作物を気にしすぎて自分が感染した！とならないように皆様もご自愛ください。

編集後記

実家の梅の花が咲き始めました。もう春は、そこまで来ています。 今瀬

皆さまからのご意見・情報をお待ちしております。